

## 綿工業の恐慌 *Krisen der Baumwollindustrie; Crises in the Cotton Industry*

*Das Kapital*, 1. Bd., MEWBd. 23, S.477-478 (『資本論』1b、新日本出版社、1997年)

工場労働者の運命は、イギリスの綿工業の運命をざっと概観すれば、もっともよく例証される。

1770年から1815年までに、綿工業は、5年間不況または沈滞の状態にあった。この最初の45年間の時期に、イギリスの工場主は機械と世界市場とを独占していた。1815年から1821年にかけては不況、1822年および1823年は繁栄、1824年には団結禁止法の廃止\*1、工場全般の大拡張、**1825年には恐慌**。1826年には綿業労働者のひどい窮境と暴動。

1827年にはわずかの好転、1828年には蒸気織機と輸出の大増加<sup>a</sup>。1829年には輸出、とくにインドへの輸出がこれまでのどの年をも凌駕(りょうが)する。1830年には市場の過充<sup>b</sup>、ものすごい困窮、1831年から1833年までは持続的不況。東アジア(インドおよび中国)への貿易が、東インド会社の独占から取り上げられた\*2。1834年には工場と機械類の大増加<sup>c</sup>、人手の不足。新しい救貧法\*3が工場地域への農村労働者の移住を促進する。農村の諸州からの児童の掃。白色奴隷売買。1835年には大繁栄。同時に綿手織工の餓死。1836年には大繁栄。**1837年と1838年には不況と恐慌**。

1839年には回復。1840年には大不況。暴動、軍隊の干渉。1841年と1842年には工場労働者の恐るべき悲惨。1842年には、工場主が穀物法の撤廃を強要するために、工員を工場から締め出す。労働者は幾千人となくヨークシャーに流れ込むが、軍隊によって追い返され、その指導者はランカスターで裁判にかけられる。**1843年にはひどい窮乏**。1844年には回復。1845年には大繁栄。1846年にははじめ持続的高揚、次いで反動の兆候。穀物法の撤廃。**1847年には恐慌**。「大きなパン」\*4をお祝いする10%またはそれ以上の全般的な賃金切り下げ。**1848年には持続的不況**。マンチェスターは軍隊によって警備。

1849年には回復。1850年には繁栄。1851年には物価の下落、賃金の低下、ストライキの頻発。1852年には好転の始まり。ストライキの継続、工場主は外国人労働者を輸入するといつて威嚇(いかく)する。1853年には輸出の上昇<sup>d</sup>。プレストンで8か月にわたるストライキとひどい窮乏。1854年には繁栄、市場の過充<sup>e</sup>。1855年には合衆国、カナダ、東アジア諸市場から破産の報告が殺到。1856年には大繁栄。**1857年は恐慌**。

1858年には好転。1859年には大繁栄。工場の増加<sup>f</sup>。1860年はイギリス綿工業の絶頂。インド、オーストラリア、その他の諸市場は、供給過剰になって ueberfuehrt<sup>g</sup>、1863年にもなおその全滞貨 Quark/the whole lot をほとんど吸収できないほどであった。フランスとの通商条約。工場および機械類の膨大な増加<sup>h</sup>。1861年には高揚がしばらく続く。反動、アメリカの南北戦争、綿花飢饉。**1862年から1863年までは完全な崩壊**\*5。

\*訳者注:

\*1: 団結禁止法は労働者組織の設立や活動を禁止した法律で、1799年および1800年にイギリス議会が採択した。1824年、議会はこの法律を廃止したが、その後も労働者組織への加入、ストライキへの参加の煽動などは、強要強制とみなされ、刑法上の処罰を受けた。

\*2: 東インド会社は、自由貿易主義の台頭によって、その貿易独占が攻撃的になり、1813年に茶以外のインド貿易の独占権が廃止され、1833年には茶貿易と対中国貿易の独占権が廃止された。

\*3: 従来の救貧行政は、住民から救貧税を徴収し、労働能力をもつ者は労役場で働かせ、そうでない者を救恤(きゅうじゅつ)したが、1834年実施の改正法は自由主義の原理を導入し、老年者、病弱者をのぞき労役場外の者の救済を極端に制限した。

\*4: 本訳書、第1巻、486頁、訳注\*3参照。

\*5: 『タイムズ』1863年4月27日付のフェランドの演説にもとづく。マルクス『1861-1863年草稿』、『資本論草稿集』9、大月書店、283頁以下参照。

<sup>a</sup> grosser Anwachs [英語版] great increase in power-looms, and in exports

<sup>b</sup> ueberfuellte Maerkte [英語版]glutted markets 市場の飽和

<sup>c</sup> Wachstum [英語版]increase

<sup>d</sup> steigende Ausfuhr [英語版]increased exports 輸出の増加

<sup>e</sup> Ueberfuellung der Maerkte [英語版] glutted markets 市場の飽和

<sup>f</sup> Zunahme der Fabriken [英語版]increase in factories

<sup>g</sup> ueberfuehrt < ueberfuehren --> ueberfuellen (飽和状態になる) ? [英語版] so glutted with goods

<sup>h</sup> Wachstum [英語版]growth

<sup>i</sup> Zusammenbruch. [英語版] collapse